



(左から 青木理事長、加納会長、和氣秀文学部長、生産者の畑山浩志さん、市山直之宮城県支部長)

今年も宮城県支部のご厚意によりお米 300Kg が啓友会に届きました。加納会長、青木理事長へ宮城県支部長の市山直之さん(昭和 55 年卒業)から寄贈の言葉があり、その後、和氣学部長へ生産者の畑山浩志さん(昭和 58 年卒業)から手渡されました。このお米は、学生食堂に預け、4月以降食堂で学生の皆さんに提供される予定です。

また、今年初の試みとして販売会も実施しました。事前に学内の教職員の皆さんへ案内をし、10数名の方にお買い上げいただきました。ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。



### <生産者の畑山浩志さんからのコメント>

2023年産の新米は、「食の安全」と「健康増進」をテーマに掲げ、南三陸町歌津地区の魚港で働く人魚姫(奥様達)から茎ワカメを提供してもらい、有機肥料として活用し、「安心・安全・健康」を踏まえて生産したお米です。

海と陸のコラボレーションから生まれたお米の名は「**人魚の舞**」です。

米の品種は「ひとめぼれ」です。この「ひとめぼれ」は、炊きたては艶のある優しい光を放ち、口に含んだ際は弾力性があり仄かな甘さが口の中に広がります。いくら食べても飽きず、冷めても美味しさが変わらないお米です。